

対日直接投資促進に向けた FDIタスクフォースの取組について

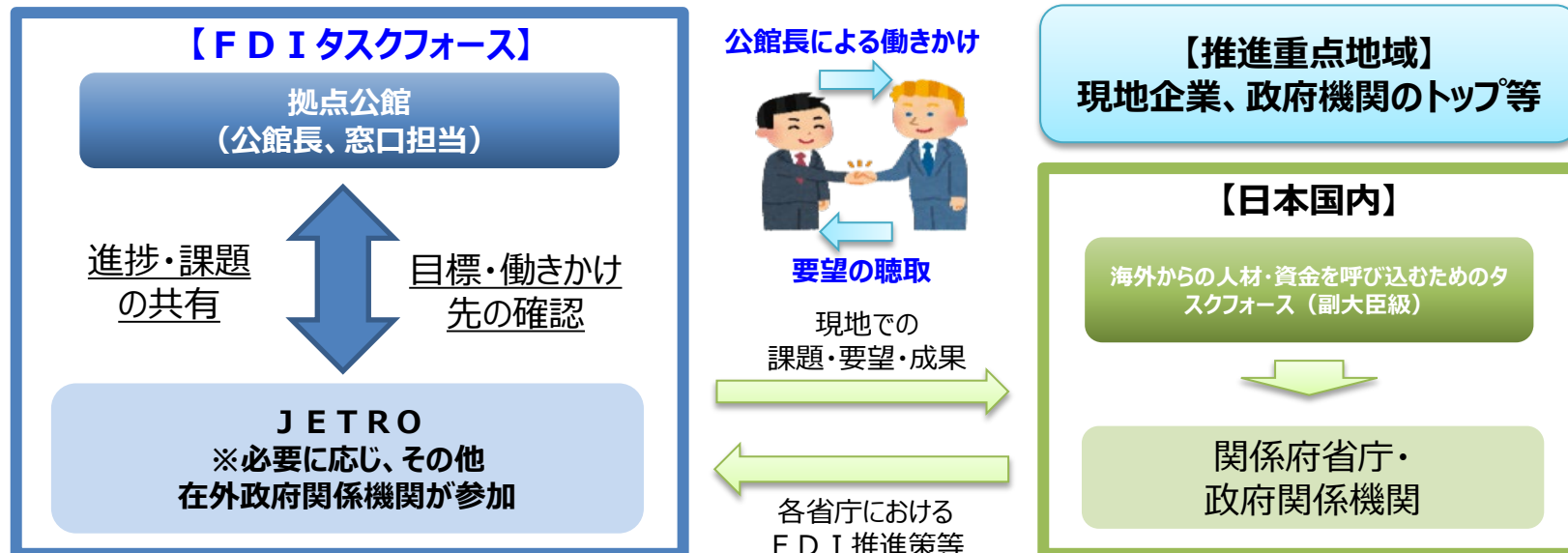
令和6年1月31日
外務省

1 背景・目的

- 2023年4月、対日直接投資推進会議において、「海外からの人材・資金を呼び込むためのアクションプラン」が策定。外務省については、在外公館とJETRO海外事務所との連携を強化し、在外における働きかけの体制を強化することが決定された。

2 進捗状況

- 2023年6月から在外公館長及びJETRO事務所長のレベルでの連携による「FDI タスクフォース」を米国（ニューヨーク）、英国（ロンドン）、独（デュッセルドルフ）、仏（パリ）、豪州（シドニー）の5拠点に設置。
- 2026年度までの業績評価指数（KPI）として、約4年間での5公館合計の件数（対日直接投資誘致活動実施件数）を約100件と設定。
- 2023年11月、上記5拠点に対して、活動計画を策定。
- 在外公館長及び海外ジェトロ事務所長レベルで緊密に連携し、現地主要企業や政府機関幹部への働きかけを強化するとともに、日本進出を目指す外国企業への支援を通じて外国企業の誘致を図っていく。



グローバル・ビジネス・セミナー

1月29日、外務省主催の下、対日直接投資の促進をテーマにセミナーを開催。日本における投資傾向、海外から見た日本のビジネス環境、日本への投資のメリットについて、ビジネス界の代表、日本に拠点を置く外資系企業から講演を実施。政府からは、日本国内における対日直接投資促進に向けた取組を紹介。

日時：2024年1月29日

会場：三田共用会議所（オンライン併用）

主催：外務省（主催）、経済産業省（共催）内閣府・JETRO（協力）

参加者：約180名程度（対面出席）※

※在京大使館、駐日経済団体・商工会議所関係者、企業関係者、政府・地方自治体関係者等



辻外務副大臣による「開会の辞」



マークス・シュールマン氏による講演

【講演の概要（ビジネス界の代表・日本に拠点を置く外資系企業）】

- マークス・シュールマン駐日ドイツ商工特別代表から、日本は経済的、政治的、社会的な安定性があり、魅力ある投資先である、研究開発など地域的なハブとして期待する旨発言。
- 吉田正紀日本取引所グループ執行役から、日本企業による企業価値向上に向けたコーポレート・ガバナンス改革に加え、資本市場の健全化に向けた取組を紹介。
- 高松聡株式会社ARCALIS代表取締役から、mRNAワクチンと治療薬の国内一貫生産体制の確立に向けた福島県南相馬市における工場設立に向けた取組を紹介。
- 中野守TenstorrentJapan株式会社代表取締役から、高性能AIチップの製造からAIを活用したサービスの提供までを手がける同社のビジネスを紹介。
- リュック・ペジヨ株式会社Ciel Terre Japan代表取締役から、農業用ため池等にも設置できる同社の水上太陽光発電設備の日本の地理との親和性を説明。